

分散材

TGパリックⅡ

TGパリックⅡは特に高N値、高粘着性などの鋭敏性を持つ粘土に対して有効とされる塑性流動化材です。泥土圧シールド工法による掘削などにおいて対象となる粘性土地盤の特性は地域によっても様々であり、過去における地盤層構成段階において加わった力学抵抗により得た電気的要素による粘着性など、掘削より排出工程において低力学抵抗による減摩効果、自立性による不分離化などの効果を低濃度領域において発現させることのできる画期的分散材です。

泥水シールド工法において、シルト・粘土層及びコラム掘削時における泥水の著しい粘性上昇に対して粘性低下効果を持ち、余剰泥水の処分量を低減させることができます。

TGパリックⅡの特徴

- 1・泥土圧シールド・流動化処理工法などの流動輸送工程において、TGパリックⅡの分散効果により流動性を促進します。
- 2・**高N値・高粘着性質**の粘性土地盤掘削時におけるカッタートルク圧上昇・チャンバー閉塞などの付着防止効果・剥離性にも優れます。
- 3・分散効果に優れているため、注入率を下げる事が可能であり排泥量も抑えることができます。助剤としてTGジェルを併用することで掘削土の泥水化を防ぎ、まとまり感のある良質な掘削土に改良できます
- 4・付着防止効果に優れているため、ポンプ圧送の現場（粘性土掘削時）にも適しています。
- 5・流動化処理工法などの注入工程時においても固結化の抑制・流動性促進などの効果にも適しています。
- 6・泥水式シールドにおける泥水の粘性上昇に対して粘性低下効果を持ち、余剰泥水の処分量を低減させることができます。

TGパリックⅡの性状規格

外 観	：	白色粉末
p H	：	7.0～9.0
荷 姿	：	20kg袋・1t袋・10tジェットパック車

泥土圧式シールド掘削時のTGパリックII添加量

TG パリック II 3.0 ~ 10.0 kg/m³

TG ジェル 1.0 ~ 2.0 kg/m³

高 N 値の土塊に対する使用例



TG パリック II 単独使用
低注入率において
土塊を分散化させることが可能



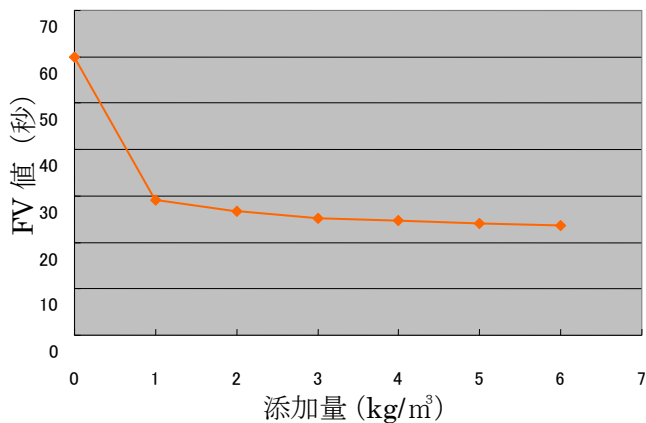
TG パリック II + TG ジェル併用使用
極度に泥水化することなく
良質の排出土に改良できる

TGパリックII 粘性低下効果

泥水における粘性低下効果

(泥水性状)

FV 値 : 60 秒、比重 : 1.22



セメント混入における粘性低下効果

No.	セメント (kg/m ³)	TG パリック II (kg/m ³)	PH	FV 値 (秒)
1	0	0	7.5	32 ± 1
2	8	0	8.5	102 ± 1
3	8	5	8.5	30 ± 1
4		6	8.5	27 ± 1

テクニカ合同株式会社

(本社 西日本国際事業グループ) 〒658-0015
 神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階
 TEL078-436-0280 FAX078-451-0257
 (東日本事業グループ) 〒170-0013
 東京都豊島区東池袋3丁目9番10号 池袋FNビル1階
 TEL03-6907-2566 FAX03-3985-8611
 (神戸研究室) 〒652-0884
 神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号
 TEL・FAX078-671-1190
 (大阪工場) 〒577-0067
 大阪府東大阪市高井田西4丁目1番9号
 TEL06-4309-7340 FAX06-4309-7341
 URL : <http://www.technica-goudou.co.jp/>